



この悔しさを来年度に……

埼玉工業大学フォーミュラプロジェクト

SIT Formula Project

<http://sitformula.wix.com/sitfp>



Presentation プレゼンテーション

マシン名: **F-06**

今年度のマシンコンセプトは昨年度に引き続き「Feel my drive」です。運転の楽しさをたくさんの人に感じてもらえるようにしました。私たちが考える運転して楽しい車とは、ドライバーの意のままに車を操ることだと考えています。昨年度のマシンでは、パーシー対策不足でフロントのオーバーハングが大きくなり、また各パーツの解析が十分にされておらず重量が重くなった部品や整備性が悪くセッティングに時間がかかる問題がありました。これらの影響により走行にドライバーに対して、視界の低下、セッティングが決まらない、反応が鈍いなどがあり、私たちのめざす運転の楽しさを感じるマシンとは、遠いものとなってしまいました。

そこで今年度のマシンは、このような箇所の見直しを行いました。オーバーハングは、ペダルのレイアウトを変更し、フロントのフレームの長さを短くすることで小さくしました。フレーム及びAアームは、強度解析で最適なパイプ径やガセットの位置を決定しました。また新たにラックマウントとベルククランクをアルミ削り出しで製作しました。今年度は、これらの改良によって私たちの追い求める運転の楽しさをたくさんのドライバーに感じてもらえるマシンになっていると思います。

Participation report 参戦レポート

昨年度は、エンデュランスにおいてバッテリーの容量不足でふたりめのドライバーの4周目でリタイヤという結果でした。きちんと走行練習を行ってマシンの耐久性を確認していればこのようなことにならず悔しい大会となりました。

そして今年度は、昨年度の悔しさをバネに全種目完走を目標に活動してきました。しかし、チーム内で問題が発生しマシンの設計や製作がうまく進まない時期があり、完成が遅れシェイクダウン証明を提出することができませんでした。あと一歩でチーム創設以来の全種目完走ができたのにこのような形で今年度の大会が終わってしまいました。大会では、各審査へ出場することができなかったのですが、知識向上のため自動車開発製作セミナー及びフォローアップ講座に参加しました。来年度は、必ずシェイクダウン証明を提出できるようにスケジュールどおりにマシン設計・製作を行い、大会では、全種目完走できるようにチーム一丸となって頑張っていきたいと思います。

最後に、1年間ご支援頂いたスポンサー様、大学関係者様ご期待に添えられず大変申し訳ありませんでした。来年度は、大会に出場できるように精進致します。暖かいご支援誠にありがとうございました。



今回の総合結果・部門賞

●総合76位

Profile チーム紹介・今までの活動

今年度で7回目の参加になります。例年、動的審査へ出場ができないときが多くありました。昨年度は、はじめて全種目出走しましたがエンデュランスでリタイヤになってしまいました。今年こそは、昨年度果たせなかった全種目完走をめざします。

Team-member チームメンバー

岡本 拓也 (CP)

向井 竜二 (FA)、鈴木 海斗、船山 広貴、向井 寛貴、正木 敬弘、佐野 聡太、吉田 壮吾、加治 秀知、富沢 大樹、米谷 洋明、今井 和希、千把 朋也、青柳 祐希、堀本 岳海

Sponsors スポンサーリスト

スズキ、NTN、日信工業、大同工業、東洋電業、デンソー、ローバル、不二越、新藤、山洞金物店、重松製作所、三菱マテリアル、F.C.C.、東京アールアンドデー、高周波精密、ノリタケカンパニーリミテド、岡田商事